

目 次

1. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について	1
2. N1メール, BITNET及びUTSとの メール中継システムのレベルアップについて	2
3. ワークステーションSUN-3/80の公開について(UTS)	5
4. PKSコマンドの機能追加について	6
5. OCR(手書き文字読み取り装置)の設置について	8
6. 平成2年度プログラム相談員の募集について	9
7. 滞在者控室の改修工事について	9

1. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について

1. 利用期限

科学研究費による計算機の利用期限は、1月27日(土)または2月20日(火)までです。また、受託研究費によるものも2月20日(火)までです。

2. ジョブの計算依頼と強制出力

例年1, 2月中はジョブが多く当該月内に処理できないことがありますので、早目に計算を依頼してください。特に長時間ジョブについては注意してください。

利用期限が2月20日(火)となっている科学研究費及び受託研究費の登録番号のジョブについては、当日までに入力されたジョブはすべて強制出力をします。また、強制出力できなかったジョブについてはキャンセル処理しますのでご了承ください。

なお、利用期限が1月27日(土)となっているジョブについては、強制出力およびキャンセル処理は行わないので注意してください。特に科学研究費による利用で計算機利用負担金額を1月末で確定する必要のある方は、必ず1月末までに利用者各自で出力まで終了させるようにしてください。

3. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、1月期限のものは31日（水）、または、2月期限のものは22日（木）までに計算結果を添えてプログラム相談室、または2階受付に調査依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で、期日までに間に合わないと思われる方は、あらかじめ第一業務掛までご連絡ください。

4. 利用負担金請求

科学研究費による1月分の利用負担金は2月初旬に、2月分は2月末までに請求処理を行います。また、受託研究費による利用負担金は2月末に一括して請求処理を行います。

利用負担金は校費等での振替え払いはできませんので、利用にあたっては注意してください。

なお、システムで行っている予算管理では、予算が1円でも残っていればセッション、あるいはジョブを受け付けますので結果的に予算オーバとなることも有ります。充分注意願います。

5. データセットの取り扱い

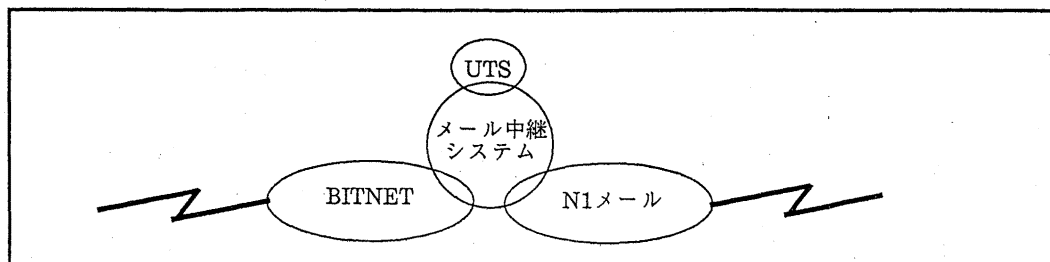
利用期限切れとなった登録番号のデータセットは、利用期限の翌月8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処置を行ってください。

（第一業務掛 電（内）2517）

2. N1メール、BITNET及びUTSとのメール中継システムのレベルアップについて

本センターでサービスしている3つのメールシステム(N1メール、BITNET、UTS(UNIXメール))は、メール中継システムを介して、それぞれが双方向に接続されています。今回、BITNETからN1メール及びUTSへのメール中継部分のレベルアップを行いました。これにより、BITNETからN1メールやUTSのアドレスを直接表記してメールが送信できるようになりました。従来の方法によるBITNETからN1メールやUTSへのメール中継は1月末で廃止します。以下に本センターにおけるメールシステムの接続図を示し、送信方法を説明します。

九大センターにおけるメールシステムの接続図



1. BITNETからN1メール及びUTSへの送信方法

BITNETからN1メール及びUTSへメールを送信する場合は、メール送信コマンドに相手のメールアドレスを直接指定します。N1メールのアドレスおよびUTSのアドレス中の@を%に換え、@JPNCKU.BITNETというゲートウェイノード名を必ず付加して下さい。@の前がN1NETとなっているもののみをN1メールに中継し、その他は全てUTS側にゲートウェイします。リプライ機能を利用したメールの返信も可能です。

使用例1)

BITNETから北海道大学大型計算機センターへメール(N1メール)を出す。

```
READY  
BITSMAIL A19999%HOKKAIDO.N1NET@JPNCKU.BITNET
```

使用例2)

海外のBITNETノードから九州大学大型計算機センターのUTSへメールを出す。

```
相手のメール送信コマンド a79999a%kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp@JPNCKU.BITNET
```

または a79999a%UTS@JPNCKU.BITNET

2. UTSからN1メールおよびBITNETへの送信方法

UTSからN1メールおよびBITNETへメールを送信する場合は、メール送信コマンドに相手のメールアドレスを直接指定します。ただし、N1メールへの送信の場合はメールアドレスの最後に .N1NET、BITNETへの送信の場合はメールアドレスの最後に .BITNETを必ず指定して下さい。リプライ機能を利用したメールの返信も可能です。

使用例3)

九州大学大型計算機センターのUTSから東北大学大型計算機センターへメール(N1メール)を出す。

```
% mail a29999@tohoku.n1net
```

使用例4)

九州大学大型計算機センターのUTSから京都大学大型計算機センターへメール(BITNETメール)を出す。

```
% mail a59999@jpnkudpc.bitnet
```

使用例5)

九州大学大型計算機センターのUTSからBITNETを経由して他のネットワークのユーザ(スタンフォード大学のユーザ)にメールを出す。他のネットワークアドレスの@を%に変え、@JPNCKU.BITNETというゲートウェイノード名を必ず付加してメールアドレスとする。

```
% mail l-11D%ノードネーム.STANFORD.EDU@JPNCKU.BITNET
```

3. N1メールからBITNETおよびUTSへの送信方法

N1メールからBITNETおよびUTSへメールを送信する場合、メール送信コマンドに相手のメールアドレスを直接指定することはできません。相手のメールアドレスはメール本文の第1行目にTO: 相手のメールアドレスの形式で指定します。そして、メール送信コマンドに指定するメールアドレスは常にGATEWAY@KYUSHUを指定して下さい。KYUSHUのGATEWAYユーザに送りつけたメールは、メール中継システムがメール本文の第1行目のTO: 以下に指定された相手のメールアドレスを読み込み、代行してメールを送信します。N1メールのリプライ機能を利用したメールの返信はできませんので注意して下さい。

使用例6)

東北大学大型計算機センターのユーザ(A29999)から京都大学大型計算機センターのユーザ(A59999)へメール(BITNETメール)を出す。

```
SYSTEM? NMAILS GATEWAY@KYUSHU  
build/file?  
input mail text  
* TO: A59999@JPNKUDPC.BITNET  
* 電子メールのテスト  
*
```

Do you want to edit(Yes or No)? N
Messageid:XXXXX
sent to GATEWAY@KYUSHU soon
SYSTEM ?

使用例7)

大阪大学大型計算機センターから九州大学大型計算機センターのUTSユーザ(A79999A)へメールを出す。

```
SYSTEM? NMAILS GATEWAY@KYUSHU
build/file?
input mail text
* TO: A79999A@UTS
* 電子メールのテスト
*
```

Do you want to edit(Yes or No)? N
Messageid:XXXXX
sent to GATEWAY@KYUSHU soon
SYSTEM ?

使用例8)

名古屋大学大型計算機センターからスタンフォード大学のユーザにメールを出す(BITNET以外の例)。

```
READY
N1MAIL GATEWAY@KYUSHU
N1MAIL VERSION 3.7 (NUCC)
Enter mail text.
Please enter null line to terminate t> mode.
t> TO: ユーザID/ノドネーム.STANFORD.EDU
t> TEST MAIL
t>
Subject: TEST MAIL
Posted to network post office.
Mail id number(NAGOYA XXXX).
READY
```

3. 注意事項

- 1) UTSはJUNETに接続されており、UTSのJUNETアドレスであるkyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jpを用いて、ユーザID@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jpを指定してBITNET、N1メールからUTSのユーザにメールを送ることもできます。
- 2) N1メールから送信する場合、相手アドレスの末尾がUTS、AC.JP、JUNETのみをUTS側に中継し、その他は全てBITNET側に中継します。
- 3) BITNETメールの漢字コードの変換は以下のように行います。
BITNETから受けたメールは、メール中継システムが一旦IBM漢字コードからJEF漢字コードに変換します。
UTS、N1メールからBITNETへ送るメールは、メール中継システムが、現在以下に示す富士通機ノードへはJEF漢字コード、それ以外はJEF漢字コードからIBM漢字コードに変換して送り出します。

JPNCKU.BITNET	JPNKUH.L.BITNET
JPNISSP.BITNET	JPNMU21.BITNET
JPNKEIO.BITNET	JPNNUHEP.BITNET
JPNKEKTR.BITNET	JPNUTINS.BITNET
JPNKUDPC.BITNET	JPNOSKFM.BITNET
JPNGUCC.BITNET	JPNRKY00.BITNET
JPNTSUK1.BITNET	

上記以外でJEF漢字のまま送り出して欲しいノードがあれば、A70012B@JPNCKU.BITNETに連

絡して下さい。

- 4) N1メールからBITNET, UTSへメールを送信する場合には、本文の1行の文字数を80文字以下にして下さい(日本語の場合は39文字以下)。
- 5) メール本文の第1行目に相手メールアドレスの指定がない場合は、そのメールは消去されます。
- 6) 受信確認通知のメールは中継されません。
- 7) N1メールのホスト一覧とメールのアドレス表記形式は以下のとおりです。

北海道大学大型計算機センター	A19999@HOKKAIDO.N1NET
東北大学大型計算機センター	A29999@TOHOKU.N1NET
東京大学大型計算機センター	A39999@TOKYO.N1NET
名古屋大学大型計算機センター	A49999A@NAGOYA.N1NET
京都大学大型計算機センター	A59999@KYOTO.N1NET
大阪大学大型計算機センター	A69999@OSAKA.N1NET
九州大学大型計算機センター	A79999A@KYUSHU.N1NET
福井大学情報処理センター	ユーザID@FUKUI.N1NET
山口大学情報処理センター	ユーザID@YAMAGUTI.N1NET
名古屋大学空電研究所	ユーザID@STENAG.N1NET

(ネットワーク室 電(内) 2518)

3. ワークステーションSUN-3/80の公開について(UTS)

1月8日(月)から、標記装置が利用できるようになりました。この装置は主に次の利用を目的としています。

- ・ X-W i n d o wの利用
- ・ 1/4インチ・テープ・ドライブの利用

1) X-W i n d o wの利用法

X-W i n d o wは次の方法で利用できます。

```
SUN3-01[133.5.1.32] login: user    ...ログイン名userはゲストid
```

```
x(-window) or s(untools) or c(-shell)? x    ...x-w i n d o wを選択する
```

2) 1/4インチ・テープ・ドライブの利用法

この装置で使用できるテープ・フォーマットは次の4種類です。

Q I C-1 1, Q I C-2 4, Q I C-1 2 0, Q I C-1 5 0

ただし、READ/WRITEできるのはQ I C-1 5 0のみで、これ以外はREADのみです。

[CMT操作コマンド]

c m t l i s t

CMTに格納されているファイル名のリストを得る。

c m t 2 d a [b s=ブロックサイズ] [ファイル名 [・・・]]

CMTに格納されているファイルをUTSに転送する。

d a 2 c m t [b s=ブロックサイズ] ファイル名 [ファイル名・・・]

UTSのファイルをCMTに転送する。

[注意事項]

- 1) `cmt2da`, `da2cmt` コマンドのブロックサイズの省略値は512バイトである。
- 2) いずれのコマンドもデータの格納形式は `tar` 形式を対象としている。
- 3) `da2cmt` コマンドは、現在テープ上に書き込まれている内容に上書きする。

[使用例]

```
SUN3-01[133.5.1.32] login: cmt    ....ログイン名cmtはCMT用のゲストid
.
Enter UTS login name:
a79999a    ....UTSの登録番号を入力する
Password: _____    ....パスワードを入力する
.
Terminal Type: sun3    ....sun3を入力する
%
.    ....CMTが利用できる
% logout
connection closed.
```

(第一業務掛 電(内)2517)

4. PKS コマンドの機能追加について

1月8日(月)から、現在公開している標記コマンドに次の機能を追加しています。PKSの詳細については参考文献を参照して下さい。

- ・ `NPLOT` コマンド (またはカタログドプロシジャ) で処理する形式の図形データセットを出力できる。
- ・ 図形をグラフィック端末に出力できる。
- ・ カルコンプファンクショナルソフトウェアを組み込んだプログラムを実行できる。
- ・ 私用ライブラリを指定できる。

以下にPKSコマンドの指定方法を示します。網欄部分部分が今回追加されたオペランドです。
コマンドプロシジャPKS (TSS処理)

1) 入力形式

```
PKS          データセット名
              [ GUNIT (論理機番 | 18) ]
              [ GOUT (NLP | OPR | CLP | XY PLOT | NPLOT |
                * | TDKTRO | F9430) ]
              [ NLP (出力クラス | Q) ]
              [ OPR (OPR機番) ]
              [ SHEET (A4LS | A5LS | B4LS | B5LS |
                A4PR | A5PR | B4PR | B5PR) ]
              [ CNTL (データセット名 | *) ]
              [ {PSP | HCB'S} ]
              [ PRVLIB (データセット名) ]
```

2) 機能

PKSプログラムの翻訳・結合編集・実行を行い、指定された出力装置に図形を出力する。

3) オペランドの説明

データセット名

ソースプログラムが入っているデータセット名を指定する。

GUNIT (論理機番)

出力ファイル装置の論理機番を指定する。省略値は18であるが、PSPオペランドを指定した場合は16となる。

GOUT (出力装置)

図形を出力する出力装置を指定する。省略値はNLP。NPLOTを指定すると、データセットGPLOTに図形が出力される。*を指定すると端末に表示される。テクトロ端末、F9430型端末に出力する時はTEKTRO、F9430を指定する。

NLP (出力クラス)

NLPの出力クラスを指定する。このオペランドは、GOUTでNLPを指定した場合にのみ有効となる。省略値は0。

OPR (OPR機番)

DSPRINTコマンドで指定するOPR機番を指定する。このオペランドは、GOUTでOPRを指定した場合にのみ有効となる。

SHEET (出力用紙種類)

OPRまたはCLPに出力する時の用紙を指定する。省略値はA4LS。CLPに出力する場合はA4LS、A4PRのみが指定できる。

CNTL (印刷編集指示パラメタファイル)

印刷編集指示パラメタの入力ファイルを指定する。*は端末から入力することを示す。省略すると印刷編集指示パラメタは指定されない。

PSP

サブルーチン群をPSP互換で動作させる。

HCBS

カルコンプファンクショナルソフトウェアを組み込んでいる時に指定する。

PRVLIB (データセット名)

私用ライブラリを指定する。

4) 使用例

- 1) PSPを組み込んだプログラムを実行し、端末に図形を出力する。

```
PKS 'LIB.SAMPLE.FORT77(PSP)' GOUT(*) PSP
```

- 2) カルコンプファンクショナルソフトウェアを組み込んだプログラムを実行した後、NPLOTコマンドでNLPに図形を出力する。

```
PKS 'LIB.SAMPLE.FORT77(HCBS)' GOUT(NPLOT) HCBS
```

```
NPLOT GPLOT
```

5) 注意事項

- 1) TTY端末で使用している時、GOUT(*)オペランドを指定するとGOUT(TEKTRO)が指定されたものとみなす。F9430型端末の場合はGOUT(F9430)と指定すること。

- 2) センターのグラフィック端末(TTY接続を除く)に図形を表示した場合は次のPFキーが有効となる。詳細は参考文献[5]を参照のこと。

PF3 ……プレビュー操作、または、図形表示の終了。

PF 7 ……上スクロール。
PF 8 ……下スクロール。
PF 10 ……左スクロール。
PF 11 ……右スクロール。

上記のキーの機能は、次の方法で利用者ごとに変更できる。例えば、「プレビュー操作」機能を割り当てておくとスクロール幅の変更ができて便利である。

- ① EGRDコマンドを入力する。
- ② 「0 セッション属性」を選択する。
- ③ 「2 PFキー定義」を選択する。
- ④ PFキーを定義する。

- 3) TTY接続のグラフィック端末に図形を表示させた場合は次のコマンドが有効となる。詳細は参考文献[6]を参照のこと。

END ……図形表示の終了。
CANCEL, COPY, DELETE, FREE, KEEP, LIST,
MOVE, NEXT, SCALE

- 4) GOUT(NPLOT)で出力された図形データセットGPLLOTをNPLOTコマンド(またはカタログドプロシジャ)で出力する場合のプロッタライブラリ名はPSP(省略値)である。

参考文献

1. 九大大型計算機センターニュース, No. 403.
2. 松尾 ほか, カルコンプファンクショナルソフトウェアの使用法, 九大大型計算機センター広報, Vol. 13, No. 1, 1980.
3. 計算機マニュアル, 富士通 PKS 文法書 V10用(99SP-7200-1), 富士通㈱.
4. 計算機マニュアル, FACOM PKS 使用手引書 V10用(99SP-7210-1), 富士通㈱.
5. 計算機マニュアル, FACOM OSIV EGRET/DRAW手引書(図形編集・出力プログラム) V10用(70SP-3640-4), 富士通㈱.
6. 計算機マニュアル, FACOM OSIV GSF手引書(70SP-6200-3), 富士通㈱.
(ライブラリ室 電(内) 2508)

5. OCR(手書き文字読み取り装置)の設置について

2階端末機器室に設置していますG150ワークステーションによるOCRのサービスを開始しました。

手書きの英数字カナを読み取り、ホスト(MSP)のデータセットに保存します。読み取り用の用紙は下記の通りで、これに記入された奇数行の1~45文字と偶数行の1~35文字の80文字を1レコードとして読み取ります。利用方法は、備え付けのOCR利用の手引を参照して下さい。

なお、これに伴い従来のOCRの運用は廃止しました。

OCR用紙

富士通指定用紙

商品名 OCR手書き汎用シート(1)

商品番号 0803110

連絡先 富士通サプライ(株) TEL. 092(451)2433
 (第一業務掛 電(内)2517)

6. 平成2年度プログラム相談員の募集について

当センターでは、現在、月曜日から金曜日の13時30分から17時30分までプログラム相談を行っています。(但し、水曜日は、10時30分から12時30分の間も行っていきます。)質問者への助言、技術指導等のため下記によりプログラム相談員を募集しますのでお申し込みください。なお、詳細は共同利用掛にお尋ねください。

記

1. 応募資格 センター利用有資格者
2. 担当時間 週1回(2時間)
但し、夏期休暇中(7.11~9.10)は、期間内に2回程度
3. 任 期 平成2年4月 ~ 平成3年3月
4. 特 典 指導用計算時間(年間120分)
マニュアル一定限度まで無償配付
5. 申込期限 2月17日(土)
6. 申込み先 九州大学大型計算機センター
共同利用掛電(内)2505

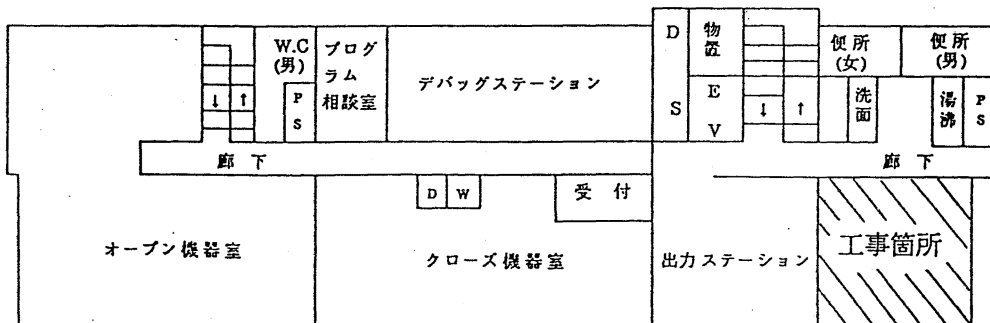
7. 滞在者控室の改修工事について

このことについて、2階滞在者控室の改修工事を、下記のとおり行っていますのでお知らせします。暫くの間ご迷惑をかけますがご了承下さい。

なお、出張利用者用ロッカー等は出力ステーション前に移設していますので、ご利用される場合は5階共同利用掛に申し込んで下さい。

記

工事期間 平成元年12月27日(水)から平成2年1月31日(水)



2階平面図

(共同利用掛 電(内)2505)